



国指定重要文化財

National Important Cultural Property

国家指定重要文化遗产

국가 중요문화재

北前船廻船問屋「森家」

Mori Residence Home of kitamae-bune Shipping Agent

北前船 运输船批发商 森家 기타마에카이센돈야 모리가



畳の敷き方も工夫されているオイ、「セイロ」
組みの木組みと帯戸の美しい調和をみせている。
囲炉裏は商取引の場であった。

北前船の歴史街道

宿場町
みなと町

岩瀬

国指定重要文化財「森家」

この建物は、平成六年十二月二十七日に国指定重要文化財となった。

森家は、代々四十物屋仙右衛門と称し、明治以降は名字を森とした。

建物は、現在八〇・二坪で、表から母屋、道具蔵、米蔵、肥料蔵と続いていたが、今は、米蔵、肥料蔵はない。

母屋のオイには囲炉裏が切られ、吹抜けの梁・差物・帯戸の豪壮な構成は見事である。奥座敷のトコは二間三尺幅のものである。表構えは、むくりのついたコケラ葺きの庇にスムシコ、スムシコの下に馬繋ぎの環が付けられており、盛事の面影を残している。道具蔵の扉には、家紋と龍虎の鍔（こて）絵が施されており、東岩瀬の海商の典型的な住宅のたたずまいを見ることが出来る。



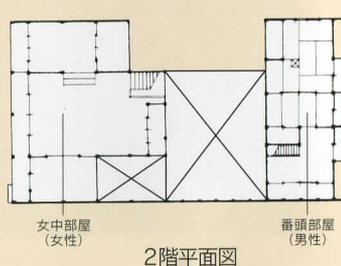
トオリニワ(土間廊下)

東岩瀬廻船問屋型町家

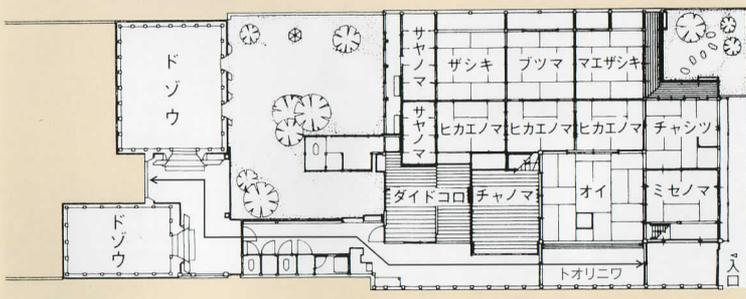
日本海で活躍した北前船（岩瀬ではバイ船という）による交易は、幕末から明治にかけて東岩瀬港は最盛期であった。北前船主は主として北海道上方とさかんに交易し、東岩瀬に多くの富と文化をもたらした。

「北前船廻船問屋森家」は、明治十一年に建てられたもので、建築当時のたゞずまいを残す東岩瀬廻船問屋型町家の一つである。この建物は、最盛期の廻船問屋仙森家の財力の表現であり、どっしりとした重厚な構造を持つ東岩瀬廻船問屋型町家の代表である。

東岩瀬廻船問屋型町家は、前庭を持つ三列四段型の完成された間取りとなっている。玄関から背後の船付場まで「トオリニワ」（土間廊下）が通じているのが特徴である。



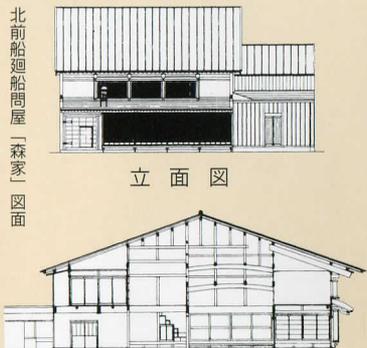
2階平面図



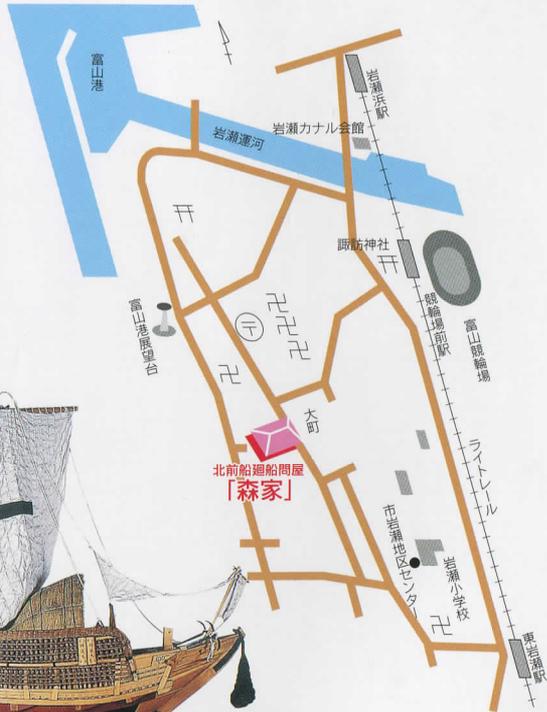
1階平面図



船絵馬



北前船廻船問屋「森家」図面



平成6年12月27日国指定重要文化財

北前船廻船問屋「森家」

〒931-8356 富山市東岩瀬町(岩瀬大町)108 TEL・FAX076-437-8960

■開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)(休館12月28日～1月4日)

観覧料	大人	100円	小人	50円
団体20名様以上	"	80円	"	40円
富山市民で70歳以上の方			50円	

廻船問屋群のあるまちなみ

岩瀬大町通りは、西側が神通川の川港を背にし、道路は藩政時代の街道である。この通りには、「北前船廻船問屋」森家をはじめ馬場家、米田家、佐藤家、佐渡家、宮城家など廻船、肥料、北洋漁業で活躍した多くの旧家があり、宿場町東岩瀬とともに港を中心とした海商のまちでもある。岩瀬大町は、街道（加賀藩の官道）に面した廻船問屋群のあるまちなみである。